

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード：120207

## 基礎看護学実習Ⅱ Basic Nursing Practice Ⅱ

担当教員	中田 弘子 木森 佳子 林 静子 田村 幸恵 三輪 早苗 中嶋 知世 丸岡 直子				
実務経験					
開講年次	2年次通年	単位数	2	授業形態	実習
必修・選択	必修	時間数	90		
Keywords	看護過程の展開 基本的態度				
学習目的・目標	【学習目的】 医療機関で健康障害により入院生活を送っている対象を受け持ち、看護過程を展開する基礎的な能力を習得するとともに、看護職として必要な態度を身につける 【学習目標】 1. 看護に必要な情報をアセスメントし、看護上の問題を特定、看護計画を立案し、実践できる 2. 看護過程を通して看護職として必要な態度を身につける				
授業計画・内容	内容				
	1. 日程・内容・場所 時期 内容 場所 2年次夏期休業期間の内の2週間 事前学習 学内で受け持ち患者の紹介、必要な知識・技術の学習 臨地実習 県内の医療機関3施設において2週間の実習を2クールに分けて実施 実習のまとめ 同上				
	2. グループ編成 1グループは3～4名程度で編成し、各医療施設（病棟）で実習する。				
	3. 受け持ち対象 健康障害により入院生活を送っている対象1名を受け持つ。				
	4. 具体的な方法 1) 入院中の対象の紹介を受ける。 2) 看護に必要な情報を収集し、アセスメントする。 3) 看護上の問題を明確にし、看護計画を立案し、実施する。 4) 実施場面を再構成し、対象との相互作用について振り返り評価する。 5) カンファレンスを通して、体験を意味づけするとともに他の学生と学びを共有する。 6) 看護過程を通して、看護の学びを深めるとともに今後の課題を明らかにする。				
教科書	看護専門領域（健康・疾病・障害の理解、看護の基本、看護援助の方法等）のテキスト、授業で配布したプリントを活用する。その他、受け持ち対象者の特性に応じてアセスメントに必要な専門書、看護書を用いる。				
参考図書等	系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 基礎看護学1・2 医学書院				
評価指標	評価の割合は実習記録を60%、実習態度やカンファレンスへの参加状況等を40%とする				
関連科目	看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 基礎看護学実習Ⅰ 人間機能学 人間病態学 疾病障害論 臨床薬理学 臨床栄養学 フィジカルアセスメント等				
教員から学生へのメッセージ	対象を理解するためには看護分野だけでなく、健康・疾病・障害の理解等の授業で学んだ知識の統合が必要です。また、自己への関心を対象にギアチェンジし、相手の視点で考える努力が求められます。2年生の感じる心、考える力、表現する力に期待しています。				